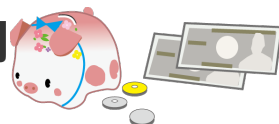


和地ひとみレポート No.272

平成30年度予算は賛成多数で可決。

一般会計予算は昨年度当初予算よりマイナス7,700万円



■平成30年度予算は

…4月になり、平成30年度がスタートしました。4月1日号の市報では、平成30年度市長施政方針の全文が掲載されていましたが、そこで示された様々な施策を行う財源となるのは平成30年度の予算です。この予算については市議会予算特別委員会（3月12日から3日間開催）で審査しました。今回の予算特別委員会では私は委員長を務めたため、予算内容に対して質疑を行うことはできませんでしたが、今回の委員会での質疑内容の特徴としては『尾崎市長2期目の最終年度』の予算という視点からの質疑が多くあったことが挙げられます。（主な予算概要は裏面をご参照ください）

…また、このレポートでも取り上げたように平成30年度は「国民健康保険の広域化がスタートすること」や「あらたな介護保険事業計画になることに伴う保険料の改定」があり、その内容を反映した予算となったことを受けての質疑も多く出ました。

…国保も介護保険も『特別会計』となっていますが、市の一般会計から毎年繰入れ（保険料または保険税の収入では賄えない分の赤字の補てん）を行っているため、一般会計もまったく無関係ということにはなりません。よって、今回の予算特別委員会では共産党より「予算の組み換え動議」が一般会計、国民健康保険事業特別会計、介護保険事業特別会計の審議の後に出され、その動議内容についても採択するという例年にはないこともありましたが、これら動議については、賛成少数で否決となり、市長から提出された予算案は全て賛成多数で原案どおり可決となりました。

…また、今まで増加傾向が続いていた東大和市の一般会計予算ですが、昨年度から少しずつ縮小しており、今年度も昨年より減少した予算になりました。今年度の予算減少の主な理由は、臨時福祉給付金※がなくなったことによるものです。

【一般会計財政規模の推移】 (単位:百万円、%)

年度	26	27	28	29	30
金額	28,366	30,491	32,379	30,467	30,390
伸び率	3.3	7.5	6.2	▲5.9	▲0.3

※臨時福祉給付金

平成26年4月の消費税率の引上げによる影響を緩和するため、低所得者に対して制度的な対応を行うまでの間、暫定的・臨時的な措置として、国から支給されたもの。

■基金＝貯金が減少する中、将来を見据え

…市の貯金ともいえる基金。基金には決算剰余金などを積み立て、財源が不足する年度に活用する「財政調整基金」と、特定の目的（事業）のために設置している「特定目的基金」があります。東大和市では、平成21年度以降、行政改革の取組みなどにより、毎年一定の残高を確保してきましたが、平成30年度予算では、増加する社会保障費関係の財源の一部として「財政調整基金」を活用することとなり、年度末には11億7800万円まで減少する見込みとなっています。

…一般的に、財政調整基金は標準財政規模の10%が適正とされています。この“標準財政規模”とは、地方公共団体が、合理的かつ妥当な水準で行政を行うための標準的な一般財源の規模で、全国一律の算出方法に基づき、毎年度、国からの普通交付税の算定時に算出されるものです。今、公表されている東大和市の最新の“標準財政規模”は約165億円。よって、その10%となると16億円の「財政調整基金」残高があることが適正な規模となりますが、平成30年度末の残高はそれを4億円ほど下回ることとなります。

【東大和市の基金残高の動向】 (単位:百万円)

	H27	H28	H29	H30
財政調整基金	2,227	2,081	2,192	1,178
特定目的基金	2,355	1,538	1,941	1,924
合計	4,582	3,619	4,133	3,102

…東大和市は既存事業だけでなく、子育て支援、高齢化などによる新たなニーズへの対応のほか、公共施設の老朽化への対応なども必要になっています。そんな中、限られた財源を活かしてどれだけの価値を生み出せるかで、他の自治体との差が出る時代が本格化しています。今年度も予算を使った結果、どのような効果が出ているのかをきちんと注視していきたいと思いました。

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。駅前配布するレポートは毎回、最新号です。

「私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思います。」

【プロフィール】



1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山あいの小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。/「学校」の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク(※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換)に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。月刊誌『日経WOMAN』のベンチャー企業で活躍する女性特集で取り上げられる。その後、人材開発部長を拝命。/『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後は、不動産投資会社にて企画業務、税理士対応、広報、社員研修、組織活性化などに従事。2011年4月、初当選。現在2期目。顔の見える議員として、日々奮闘中。

東大和市 市議会議員
和地 ひとみ

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP: <http://www.wachi1103.jp>
✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp 【電話・FAX】 042-516-8546
〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102

■平成30年度予算の財政規模(金額単位は千円)

会計名	平成30年度	平成29年度 (当初予算)	増減額	増減率	
一般会計	30,390,000	30,467,000	▲77,000	▲0.3%	
特別会計	国民健康保険事業特別会計	9,074,654	10,793,283	▲1,718,629	▲15.9%
	下水道事業特別会計	2,105,711	2,187,062	▲81,351	▲3.7%
	土地区画整理事業特別会計	168,503	121,514	46,989	38.7%
	介護保険事業特別会計	6,577,318	6,773,515	▲156,197	▲2.3%
	後期高齢者医療特別会計	2,008,826	1,902,406	106,420	5.6%
特別会計合計	19,935,012	21,737,780	▲1,802,768	▲8.3%	
総合計	50,325,012	52,204,780	▲1,879,768	▲3.6%	

■一般会計歳入予算(金額単位は千円)

		予算額	構成比
①市税	市民税個人・法人、固定資産税、都市計画税、市たばこ税、軽自動車税など	12,550,221	41.3%
②国庫支出金	子育てや福祉関連など国の政策に関連した取組みに対する国の負担分などの交付金など	5,781,218	19.0%
③都支出金	子育てや福祉関連など都の政策に関連した取組みに対する都の負担分などの交付金など	4,742,711	15.6%
④地方交付税	自治体間の財源の不均衡を調整するために国から交付されるもの	1,650,000	5.4%
⑤地方消費税交付金	地方消費税の一部を財源として、人口と従業者数で按分し、都から交付されるもの	1,406,235	4.6%
④繰入金	積立基金(≒市の貯金)の取り崩し	1,039,182	3.4%
⑤市債	地方財政の一般財源を補てんする市債や市の大規模事業に充てる市債(借入金)	1,421,600	4.7%
⑥その他	繰越金、行政財産の目的外使用料、利子割交付金、自動車取得税交付金や過年度事業の精算に伴う収入など	1,798,833	6.0%

■一般会計歳出予算(金額単位は千円)

		平成30年度	平成29年度 (当初予算)	比較	増減率
議会費	市議会運営のための費用	286,688	296,284	▲9,596	▲3.2%
総務費	防犯対策や市役所の運営の費用	2,766,130	2,753,122	13,008	0.5%
民生費	高齢者や障害者、児童福祉などのための費用	17,142,576	17,675,146	▲532,570	▲3.0%
衛生費	保健や予防、ごみ処理などのために使われる費用	2,335,365	2,335,250	115	0.0%
労働費	中小企業労働者への融資に要する費用	3,020	3,020	0	0.0%
農林業費	農業の振興などのための費用	53,356	58,019	▲4,663	▲8.0%
商工費	商工業の振興などのための費用	119,621	110,224	9,397	8.5%
土木費	道路や公園、下水道の整備などのための費用	1,757,572	1,634,018	123,554	7.6%
消防費	災害対策などのための費用	1,145,127	1,166,790	▲21,663	▲1.9%
教育費	学校や図書館、公民館の運営などのための費用	3,106,523	2,771,171	335,352	12.1%
公債費	借入金の返済のための費用	1,636,170	1,629,426	6,744	0.4%
諸支出金	基金の積立など、その他の費用	7,852	4,530	3,322	73.3%
予備費		30,000	30,000	0	0.0%
歳出合計		30,390,000	30,467,000	▲77,000	▲0.3%

■各家庭が収める税金の使途(金額単位は円)

市民税(個人)の歳入予算額をH30年1月1日現在の世帯数38,544世帯で割ると、約138,000円(昨対+1000円)になります。それを、各家庭が1年間に収める税金の額とした場合の使徒別の金額は右記の通りです。(上から多い順)

使 途	主な内容	金 額	割合
民 生 費	高齢者や障害者、児童福祉などに使用	¥59,064	42.8%
総 務 費	防犯対策や市役所の運営などに使用	¥18,630	13.5%
教 育 費	学校や図書館、公民館の運営などに使用	¥17,250	12.5%
公 債 費	借入金の返済のために使用	¥12,006	8.7%
衛 生 費	保健や予防、ごみ処理などに使用	¥11,868	8.6%
土 木 費	道路や公園、下水道の整備などに使用	¥10,212	7.4%
消 防 費	災害対策などに使用	¥5,658	4.1%
議 会 費	市議会運営のために使用	¥2,070	1.5%
農 林 業 費・商 工 費	農業や商工業の振興などに使用	¥966	0.7%
労働費・諸支出金等	—	¥276	0.2%
合 計	—	¥138,000	100%